

## 【1】全国フェミニスト議員連盟とは

フェミニズムに根付いた政治と市民の活動をサポートする運動体

- ・ 会員 約 200 (議員 120 市民 80)
- ・ 目的 全国の議会・公的議決機関の女性率を 50%に引き上げ、  
女性の声が政治に反映される社会をつくる
- ・ 主な活動
  - ◆ 機関紙 AFER 年 4 回 最新号：98 号 (2018 年 8 月 20 日発行)
  - ◆ ツール：情報交換用の ML HP facebook
  - ◆ 総会のイベント
    - 2018 ドキュメンタリー映画上映  
「たたかいつづける女たち～均等法前夜から明日へバトンをつなぐ」
    - 2017 講演会「ひきこもりの若者に対する支援～藤里町社会福祉協議会の取り組み」
    - 2013 設立 20 周年記念セミナー～政党政治団体の女性政策を聞く
  - ◆ サマーセミナー (夏合宿)
  - ◆ NVEC フォーラムでワークショップ開催
  - ◆ 女性議員パワーアップ集中講座

## 【2】フェミ議連の歴史と活動

### 1992 年 2 月 発足

8 月 箱根町で合宿 テーマ：「これからの福祉政策」「男女平等雇用条例試案」

夏合宿は神奈川や千葉県の女性センター、富山、松江、北九州、函館などで毎年開催  
2014 年からサマーセミナーと名を変え、今年松本で開催

### 1993 年 5 月 ペアテ・シロタ・ゴードン来日記念講演「憲法に女性の権利を入れた人」

1994 年には国際担当の部門が発足

1995 年第 4 回世界女性会議に参加、八王子で報告会開催 (10 月)

韓国女性リーダー訪問団と意見交換会 (2007)

シンポジウム「世界は進む日本は進まず～パリテ、クオータ、男女共同参画」(2009)

「選挙を変えれば暮らしが変わる～モノトーン議会からオーケストラ議会へ」(2018)

### 1996 年 8 月 NVEC フォーラムでワークショップ「女性議員を増やすための実践に学ぶ」

以後、ほぼ毎年ワークショップを開催

「～女性の政治参画で社会が変わる～ でも一人はつらい・・・」(2017)

### 1997 年 6 月 5 周年記念シンポジウム「なくせ！女性ゼロ議会」

「女性ゼロ議会をなくすキャンペーン」を山形、福島で実施

女性議員ゼロ議会調査や女性議員ゼロ自治体訪問を実施

**2012年1月 第1回女性議員パワーアップ集中講座**

第8回開催予定：2018年11月（2019年統一地方選のため前倒し開催）

**2014年7月 東京都議会でセクハラ発言（2014年6月）を受け、性差別体験アンケート実施**

**2015年7月 報告集とカラーリーフレットを作成**

**【3】女性議員ネットワークの必要性**

●議員活動での理不尽なあれこれ

- ・審議会での決定事項を老人会で話したら。。。  
議会運営委員会 謝罪文要求 一般質問するな
- ・議員協議会（全員協議会）での話し合いの内容を口止めされる
- ・議員に調査権はない？！

●フェミ議連として要請や抗議

2017年4月 宮古島市議会（2/24）

「石嶺かおり議員への辞職勧告決議の撤回を求める要請書」

（宮古島市議会議長 宮古島市議会議員）

2017年8月 徳島県藍住町（1/16）

「藍住町女性議員資格剥奪の違法確定と今後についての要請」

（徳島県藍住町長、藍住町議会議長）

2018年11月

「議会活動と子育てを両立できるよう要望します」

（熊本市議会議長、熊本市議会運営委員長、熊本市議会事務局長）

●女性議員ゼロの議会に対する働きかけ

2016年7月 宮城県栗原市 訪問と意見交換会（行政視察形式）

2017年4月 群馬県内にゼロ議会10あり 高崎市で集会

7月 岐阜県関市 訪問と意見交換会

2018年4月 奈良県桜井市 橿原市で集会「女性議員を増やそう inNARA」を支援

2018年7月 長野県川上村 訪問と意見交換会

●パワーアップ講座テーマから見る取り組み課題

2018 ヤングケアラー／国や自治体の広報物のジェンダー意識／国保広域化

2017 JK ビジネス／原発事故避難者／議会改革

★お粗末なジェンダー意識

エイズ予防財団の1991年啓発ポスター

伊勢志摩市の海女萌えキャラクター／志布志市うな子／宮城県観光PR動画

★女性が関わる議会改革

産休・育休・介護休暇を議会会議規則に（埼玉県越谷市）

女性センターの大規模改修で女性市民グループと超党派女性議員が協力（千葉県松戸市）

【4】性差別体験アンケートと報告集

●アンケートのきっかけと経緯

2014年6月：東京都議会

- ・「女性の妊娠・出産をめぐる都の支援体制」について女性議員が一般質問
- ・「早く結婚した方がいいんじゃないか」「自分が産んでから」「産めないのか」などのヤジ
- ・議場からは嘲笑 議長はその不規則発言を制することもせず
- ・ひとりの議員が名乗り出ただけ
- ・「東京都議会の信頼回復に関する決議」を採択して幕引き

2014年7月：アンケート実施（2014年7月12日から2014年8月31日）

- ・回収（143）（配布総数は500以上）

2015年2月：カラーリーフ（A4二つ折り）完成

2015年7月：報告集冊子（B5版64頁）完成

●アンケートから

＜回答者の属性＞

◇性別 女性135人 男性0人 どちらでもない0人 未記入1人

◇議員の経験履歴 現職 128人 元議員14人 未記入1人

1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期
47人	38人	26人	15人	11人	3人	2人
33.0%	26.7%	18.3%	10.5%	7.7%	2.1%	1.4%

＜本人の被害体験（複数回答あり）＞

加害者について

議員から 67人	職員から 17人
----------	----------

男性から 62人	女性から 0人	両方から 9人
----------	---------	---------

被害回数

1回から5回	50人	6回から10回	8人	数えきれない	13人
--------	-----	---------	----	--------	-----

被害にあった場所

本会議場	12人	委員会や他の会議	19人	その他	56人
------	-----	----------	-----	-----	-----

その他の内訳

視察先	20人	懇親会	9人	庁舎内	10人
-----	-----	-----	----	-----	-----

回答者本人の性差別被害体験具体的事例

- ・性にもとづく嫌がらせや不快な言動 (45)
- ・女性への侮蔑的態度や発言 (25)
- ・集団的セクハラ (4)
- ・二重の被害 (3)
- ・性別役割分業の押し付け (4)

## <報告集から>

### ★女性議員比率と被害体験の関係

女性議員比率	回答者数	被害体験者数	体験率
10%未満	15人	11人	73.3%
10%以上 20%未満	52人	30人	57.6%
20%以上 30%未満	49人	18人	36.7%
30%以上	21人	10人	47.6%

女性議員比率 38%や 29%の自治体議会での性差別被害の訴えがある。

女性議員 1名の自治体	8名	性被害体験	6人(75%)
女性議員 2名の自治体	12名	性被害体験	8人(66%)

しかし、女性議員が1人・2人の議会での被害体験率の高さから見ると  
**女性議員の少なさが性差別被害の可能性を高めていると考えられる。**

### ★被害体験時の在職期数

体験時の期数	1期：44人	2期：15人	3期：3人/4期：1人
被害総数に対する割合	69.8%	23.8%	6.3%

**1期目の回答者は全回答者の33%だが、被害者総数における割合はほぼ7割。**

### ★見えていないだけ

あると答えた 49 人の性差別体験や見聞き経験をクロス集計したところ

本人が性差別体験者 33 人

女性の性差別見聞き者 30 人

何らの経験なし 5 人

自らのセクハラ被害に感度の高い人は、他の人のセクハラ被害にも感度が高い。

性差別とは何か、また性差別的仕組みや習慣とは何か、ということを、

広く知らせていく必要がある。

**「無い」のではなく、見えていないだけ**

### 【5】アンケート&報告集 その後

- 2014年8月NWECフォーラム 「めざせ！202030—政策決定の場にもっと女性を」  
アンケート結果の中間報告

パネラーのひとり澁谷知美さん（東京経済大学準教授）の3つの問い

問1「なぜ女性議員を増やす必要があるのか」

問2「性差別ヤジ問題は何を露呈したのか」

⇒現状多数派である男性議員の人権感覚の欠如 女性が政治に参加してうける仕打ち

問3「今後どうすべきか」

⇒男性に対抗できる男性の養成

#### 抑止力としての第三者

- 全国（都道府県議会、市議会議長会、町村議会）議長会に意見書  
「性差別や人権侵害のない、女性が安心して参画できる議会にすることを求める意見書」  
⇒2015年5月 **女性議員が出産を理由に議会を欠席することができるよう**、  
各議会の会議規則モデルとなる**標準議会議事規則**を3議長会が発表

- 報告集でアピール

全国の女性センターなどに無料送付 381

議会で購入 11自治体

- 社会的なアピール／マスコミの力

2015年3月女性と政治キャンペーン in 渋谷

フラッシュモブ リレートーク カラーリーフ配布

NHK や TBS、三大新聞などの取材、女性議員に関する記事

## 【6】今後の課題

### ●女性議員に立ちはだかる壁

- ・ 議員先生という意識
- ・ 絶句するほど低劣 取り残された島
- ・ まず明らかにすること

### ●政治分野における男女共同参画推進法を使いこなす

- ・ 候補者男女均等法ともよばれる推進法は、  
政党の候補者を男女均等にすることを求めている
- ・ 国や地方公共団体の基本施策として位置づけられていることは  
実態調査、情報収集、啓発活動、環境整備、人材育成

★地方議会に女性議員が少ない実態を明らかにし、「それって変！」を共有していく

★女性議員が増えるための努力を地方自治体もすべきであると働きかける

**解決手段は女性議員を増やすこと**